

溶接技能者評価試験申込書記入

*印の欄は記入しない

新規受験者は、実技と学科を受験するので1に○印をつける

既に学科試験に合格している新規受験者は、2に○印をつけ、下の欄に既存資格を記入し、証明書のカラーコピーを添付

証明書の有効期限が満了した場合は、2に○印をつけ、下の欄に既得資格を記入し、証明書のカラーコピーを添付(基本級を含めての受験となる)

再評価受験者で、再評価種目(2H)のほかに2Vを受験する場合は2の新規受験に○印をする
なお、さらに3F、3Vを新規受験する場合は別の申込書に記入し提出

氏名欄には、姓と名を分けて記入し、フリガナをつける

自宅及び勤務先欄には、郵便番号とフリガナをつける
番地は○-○-○と記入する

[使用溶接材料の記入について]
溶接棒は、最初から最後まで同一銘柄で溶接する場合は一種類、二層目より銘柄を変更する場合は二種類を記入する
半自動溶接の場合はワイヤ銘柄、JIS規格の種類及びワイヤ径、シールドガスの有無と種類を記入する

従事証明は、責任者の印を必ず押印する。
経験年数は、合計経験年数と従事期間を記入する

アーク特別教育修了証番号を記入する
(未受講者の方は、講習を受けてください)

実技日が2日続く場合は、当支部で受付順に貴殿の受験日を決定し、受験票により通知します 希望会場名 ポリテクセンター松本 実施年月日 1日目 20年6月1日 2日目 20年6月2日

溶接技能者評価試験申込書

[JIS Z 3801 手溶接 (アーク)]

アーク特別教育修了証番号(未修了者は必ず修了する事) NO. 11-11-001

一般社団法人 日本溶接協会
溶接技能者認証委員会 殿

一般社団法人 長野県溶接協会

下記のとおり、JIS Z 3801に基づき手溶接(アーク)技能者評価試験の受験を申込みます。

(注) 受験者氏名欄は本人が署名・捺印下さい。

下段の誓約事項及び裏面の「記入上の注意事項」をよく読んでから記入して下さい。

*印欄は記入しない下さい。記入内容に誤りがあった場合には、適格性証明書を発行できないことがあります。

(写真全面貼付)
最近6ヶ月以内に脱帽で上半身を撮影したものを。
写真のサイズ
(縦4.5cm×横3.5cm)
パスポート用
証明書の写真になるので、上記サイズを厳守すること。
なお写真は、必ずこの枠内に合わせて貼ること

申込書1枚につき写真は1枚用意する。
大きさはパスポート用(縦4.5cm×横3.4cm)の寸法。全面に糊付けする
(最近6ヶ月以内に撮影したもの、顔の大きさは影程度とする)
(試験時と同容姿のもの)

再評価受験者は、3に○印を付け、下の欄に証明書番号、種目などを記入し、必ず証明書のカラーコピーを添付する
(ない場合は学科からの新規受験となる)

前回の試験で実技のみ合格して、今回は学科のみ受験する者は4の学科追試に○印を付ける

生年月日は、正確に記入する

受験種目の記入は、受験する種目番号を○で囲む
ただし、1枚の申込用紙では縦5つまで受験できるが、2つの縦の列にまたがる申込みはできない
(01と07の受験は申込書2枚になる)
なお、Nは裏当金なし、Aは裏当金あり
1は薄板 2は中板 3は厚板
(3.2mm) (9mm) (19mm)
Fは下向 Vは立向 Hは横向
Oは上向
すなわち、N-2Fは裏当金なしの中板下向溶接

業種区分は、裏の表から選び番号に○印をする

試験区分	1. 新規受験 2. 新規受験(学科免除) 3. 再評価受験(更新受験) 4. 学科追試(*)													
既得資格	取得機関	資格の種類	証明書番号	合格資格	登録年月日(西暦)	有効年月日(西暦)								
	日本溶接協会	JIS Z 3801 手溶接(アーク)	MA1700001	A-2FVH	2017年10月1日	2020年9月30日								
受験者	フリガナ	ナガノ	タロウ	捺印	性別	生年月日								
	氏名(姓)	長野	太郎		1 男性 2 女性	昭和 平成 西暦 50年10月10日生								
自宅	郵便番号	フリガナ	住所	電話番号										
	381-1231	ナガノケン ナガノシ マツシロマチ マツシロ	長野県長野市松代町松代1234-56	026-278-1111										
勤務先	フリガナ	名称	郵便番号	フリガナ	所在地	勤務先コード	電話番号							
	カブシキガイシャ ニホンテツコウジョ	株式会社 日本鉄工所	381-0928	ナガノケン ナガノシ ワカサ	長野県長野市若里1-11-1	*	026-228-0001							
受験種目	基本級	01 N-1F 06 A-2F 11 N-2F 16 A-3F 21 N-3F 26 T-1F 31 C-2F 36 C-3F												
	02 N-1V 07 A-2V 12 N-2V 17 A-3V 22 N-3V 27 T-1V 32 C-2V 37 C-3V													
	03 N-1H 08 A-2H 13 N-2H 18 A-3H 23 N-3H 28 T-1H 33 C-2H 38 C-3H													
	04 N-1O 09 A-2O 14 N-2O 19 A-3O 24 N-3O 29 T-1O 34 C-2O 39 C-3O													
	05 N-1P 10 A-2P 15 N-2P 20 A-3P 25 N-3P 30 T-1P 35 C-2P 40 C-3P													
使用溶接材料	(注) 使用する溶接棒の銘柄と規格の種類を下記に記入する。複数種目を受験する場合で、種目によって異なる溶接棒を使用するときは、受験種目と溶接棒の対応が分かるように記入する。なお、各種目とも同じ溶接棒の場合は、受験種目は記入不要です。													
	受験種目	銘柄	規格の種類	(コード)										
	A-2VH	1層目 LB-47 2層目以降 B-14	E4316 E4319	* *										
業種区分(裏面参照)	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15													
通知先	1. 自宅 2. 勤務先													
実務経験年数	20年 1カ月 2000年4月 ~ 2020年4月													
実務経験年数	上記のとおり証明します。 2020年4月30日													
(証明者)	株式会社日本鉄工所													
所属	代表取締役 金子 哲													
氏名	代表取締役 金子 哲													
印														
評語試験の受験と資格認定に際しての誓約事項	溶接技能者評価試験の受験及び合格後の資格認定にあたっては、下記に従うものとする。 (受験) 1. 不正行為は行わず、加担もしない。 (認定) 1. WES 8201 の関係条項に従う。 (注) 当該 WES 規格は、一般社団法人日本溶接協会ホームページで閲覧できます。 (http://www.jwes.or.jp/) 2. 認定に関する主張を行う場合は、認定された範囲に関するものだけとする。 3. 誤解を招きやすい方法で、適格性証明書を提出しない。 4. 認定の一時停止又は取消しとなった場合は、認定への言及を含むすべての主張を中止し、適格性証明書を一般社団法人日本溶接協会へ返却する。 5. 身体能力の低下等により、認定された技量を満足することに不安が生じた場合には、速やかに一般社団法人日本溶接協会へ申告する。													